

## 上宮寺通信

第十三号

## 本当に大切なこと

だんだんと秋の気配が感じられるようになりました。先日、お盆を迎えたと思っていたら、もうすぐお彼岸を迎えます。本当に季節の移ろいゆくのは早いものです。

お盆やお彼岸には、「家族そろって」お墓参りをしたり、お仏壇に手を合わせたりというのが、日本の原風景のように思い起こされるのですが、いまはなかなかそのような光景に出会うことは難しくなっています。

時間が取れない、遠距離に住んでいるなど、「家族そろって」というのが難しい時代になったのは事実ですが、現代人の価値観が大きく変化してきたのも影

響しているのではないのでしょうか。

最近はとかく損得勘定が中心で自分の都合が最優先です。お参りすることに意味はあるのか、お参りよりも自分の時間を楽しみたい、面倒くさい、そういう感情が先に立つのではないかと思うのです。

昔の人は損得勘定がなかったとは言いません。あったのですが、損得を超えたものにこそ大切なことがあるといただいていたと思うのです。

現代の世相を表す例としてこんな話を聞きました。

あるおばあさんが入院をしたそうです。子どもや孫がいるのですが、それぞれ忙しく、なかなかお見舞いに来てくれませ

ん。とても寂しく感じたおばあさんはあることを思い付きました。

それこそ思い出したように、中身がずっしりと詰まった巾着袋を大事そうに持つようにしたのです。そして、ひと時も自分の手から離しませんでした。たまたま面会に来た小さなひ孫が

「おばあちゃん、何が入っているの？」と聞いても、絶対に教えない。そして、もし巾着袋を触ろうものならひ孫であろうとすごい剣幕で怒る。おばあさんの子どもたちは、「あの巾着袋には何が入っているのだろうか？」と疑問に思い始めました。

「もしかしたら通帳やら現金などの財産が入っているのか？」。そう思い始めた子どもたちは、これまでとは打って変わ

って、足しげくおばあさんのところに通い始めます。おばあさんの周りはいつも賑やかになりました…。

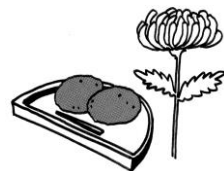
おばあさんの望みは叶いましたが、本当に満足できたのでしょうか。笑うに笑えない「笑い話」です。でも、いまの世の中をよく表しています。

世の中には損か得かだけでは量れないものがある。手を合わせることは、そのことに気づかせてくれる一つの機縁だと思えます。



◆行事案内

上宮寺の行事



9月8日(日)

秋季彼岸会・永代経法要

時間：午前十時～午後一時半

法話：中村薫師

(一宮養蓮寺前住職)

※お斎(食事)がありません。

9月23日(月・祝)

上宮寺講

時間：午後二時～

10月23日(水)

上宮寺講

時間：午後二時～

皆さまのご参詣・ご参加をお待ち  
しています。

その他の行事

10月9日(水)

舞楽と管絃の会

時間：午後六時半開演

会場：名古屋市芸創センター

※入場無料

参加者募集

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月25日(月)

バスにて本山報恩講にお参り

し、紅葉の綺麗な粟生・光明

寺などもまわります。

参加費 14,000円

定員 三十五名

申込締切は十月三十一日。た

だし定員になり次第、締切。

詳しくは上宮寺までお問合せ  
ください

◆話題あれこれ

○孟蘭盆会(お盆) 法要には猛暑  
の中、たくさんの方にお参りいた  
だき、ありがとうございました。

○9月8日(日)に秋のお彼岸・  
永代経法要をお勤めします。残暑  
が厳しいかもしれませんが、皆さ  
まのご参詣をお待ちしています。

○10月に雅楽の演奏会があります  
(行事案内参照)。住職、前住職も  
出演いたします。お時間がありま  
したらぜひ鑑賞ください。

○お盆が終わればお彼岸、お彼岸  
が終われば報恩講と、お寺の法要  
行事が続きます。皆さまのご協力  
をよろしくお願いいたします。

○仏事についてわからないことが  
ありましたら、なんでもご相談く  
ださい。

【雑感】

大学生の二人の息子は、ともに  
アルバイトに精を出しています。  
お金をいただくありがたさを知る  
良い機会ではあるのですが、勉強  
がおろそかになるのではないかと  
親としては心配にもなります。た  
だ、自分のことを振り返ってみて  
も、学生時代のアルバイトという  
のはとても良い経験でした。おも  
しろかったのはある納骨堂での読  
経のアルバイト(仏教系の大学生  
ならではのバイトです)。お供えを  
お下がりとしていただけなのです  
が、ビールがあるとバイト仲間で  
争奪戦になることも。お下がり  
楽しみにそのバイトに行っていた  
ことを思い出します。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052・871・0547